

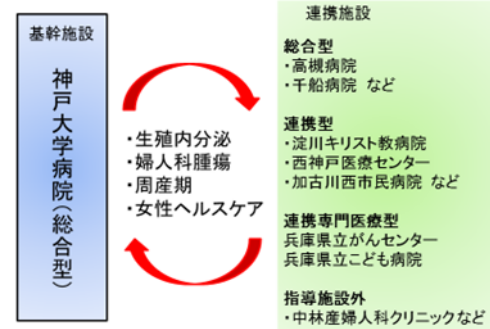
資料 2. 神戸大学専門研修コース例

A. 神戸大学専門研修コースの概要

神戸大学専門研修コースでは神戸大学医学部附属病院産科婦人科を基幹施設とし、連携指導施設とともに医療圏を形成して専攻医の指導にあたる。これは専門医養成のみならず、地域の安定した医療体制をも実現するものである。さらに、指導医の一部も施設を移る循環型の医師キャリア形成システムとすることで、地域医療圏全体での医療レベルの向上と均一化を図ることができ、これがまた、専攻医に対する高度かつ安定した研修システムを提供することにつながる。

研修は、原則として、神戸大学病院およびその連携病院によって構成される、専攻医指導施設群において行う。研修の順序、期間等については、個々の産科婦人科専攻医の希望と研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して、神戸大学産科婦人科専門研修プログラム管理委員会が決定する。

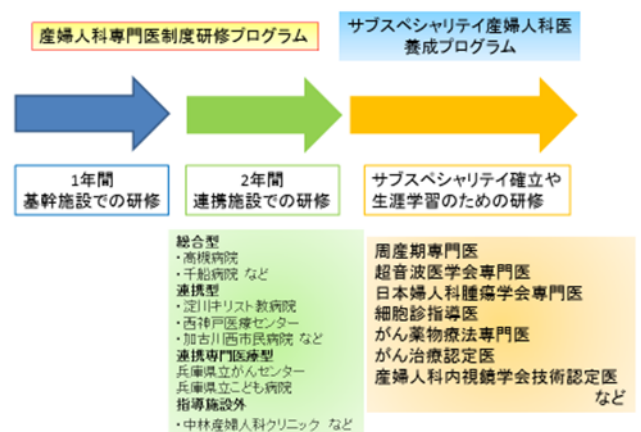
専門研修施設群



B. 神戸大学専門研修コースの具体例

・産婦人科専門医養成コース；神戸大学附属病院 1～2 年間で専攻医指導施設において 1～2 年間の合計 3 年間で専門医取得を目指すプログラムである。基幹施設研修を開始する研修コースを基本とし、周産期重点コース、婦人科腫瘍重点コース、生殖医学重点コースなどは個々の専攻医に希望に基づいて変更することが可能である(例 1、2)。また、神戸大学附属病院産科婦人科専門研修プログラムでは、連携施設から研修を開始する研修コース(例 3)を設けており、個々の専攻医の希望に応じたきめ細かい研修プログラムを作成することが可能である。

専門医制度研修プログラムとその後のサブスペシャリティ研修の概要



・産婦人科専門医大学院研修コース；神戸大学附属病院で研修をしながら、大学院にも在籍し、専門医取得と同時に医学博士号を取得するためのプログラム(例 4)。

・女性医師支援研修コース；女性医師で結婚しているために研修に十分時間がとれない場合のプログラム（例5）。女性医師の子育て支援のため、院内保育を利用しながら、日勤帯を基本とした研修プログラムを個々の女性医師専攻医の希望に合わせて作成する。研修期間は、3年を基本とするが、研修進捗状況に合わせて延長も考慮して変更することが可能である。

・復帰支援研修コース；妊娠・出産などで一時的に職場を離れた場合の復帰を支援するプログラム。女性医師支援研修コースと同様に日勤帯を基本とした研修プログラムを個々の女性医師専攻医の希望に合わせて作成する。研修期間は、3年を基本とするが、研修進捗状況に合わせて延長も考慮して変更することが可能である。

C. サブスペシャリティの取得に向けたプログラムの構築

神戸大学産科婦人科研修プログラムは専門医取得後に以下の専門医・認定医取得へつながるようなものとする。

- ・日本周産期・新生児医学会 母体・胎児専門医
- ・日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医
- ・日本生殖医学会 生殖医療専門医
- ・日本女性医学学会 女性ヘルスケア専門医
- ・日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医

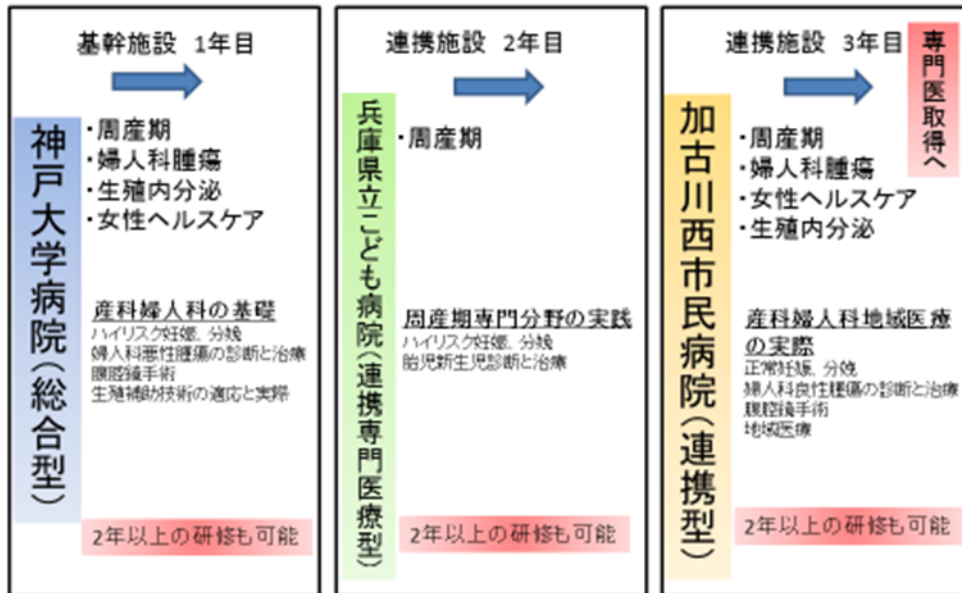
専門医取得後には、「サブスペシャリティ産婦人科医養成プログラム」として、産婦人科4領域の医療技術向上および専門医取得を目指す臨床研修や、リサーチマインドの醸成および医学博士号取得を目指す研究活動も提示する。

D. 初期研修プログラム

神戸大学産科婦人科専門研修プログラム管理委員会は、初期臨床研修管理センターと協力し、大学卒業後2年以内の初期研修医の希望に応じて、将来産婦人科を目指すための初期研修プログラム作成にもかかわる。現在の初期研修プログラムでは、内科系、外科系、麻酔科、救急医療などの基礎研修の後に産婦人科の初期研修を行い、産婦人科専門研修への準備を行うコースを設けている。

1). 周産期重点研修コース

周産期重点研修コース（例1）

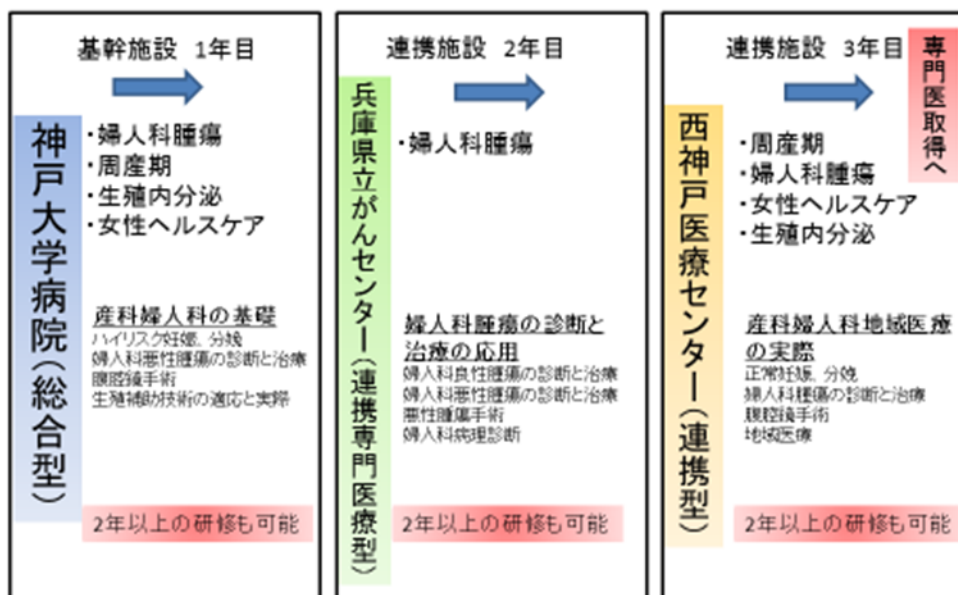


周産期重点研修コース（例1）
手術、分娩数

		1年目	2年目	3年目	合計
病院		神戸大学 医学部附属病院	県立こども 病院	加古川 西市民病院	
手術数	単純子宮全摘術	15	0	30	45
	帝王切開術	30	30	50	110
	子宮内容除去術	10	1	20	31
	腹腔鏡手術	10	0	20	30
分娩数	50	50	150	250	

2). 婦人科腫瘍重点研修コース

婦人科腫瘍重点研修コース（例2）

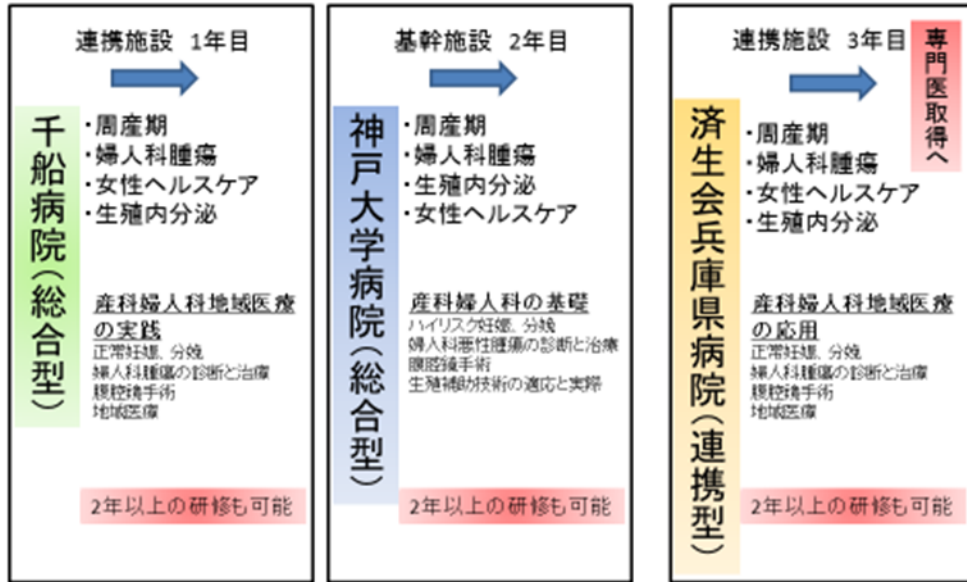


婦人科腫瘍重点研修コース（例2） 手術、分娩数

		1年目	2年目	3年目	合計
病院		神戸大学 医学部附属病院	県立がん センター	西神戸 医療センター	
手術数	単純子宮全摘術	15	30	40	85
	帝王切開術	30	0	50	80
	子宮内容除去術	10	2	15	27
	腹腔鏡手術	10	2	50	62
分娩数		50	0	100	150

3). 連携施設開始研修コース

連携施設研修開始コース（例3）

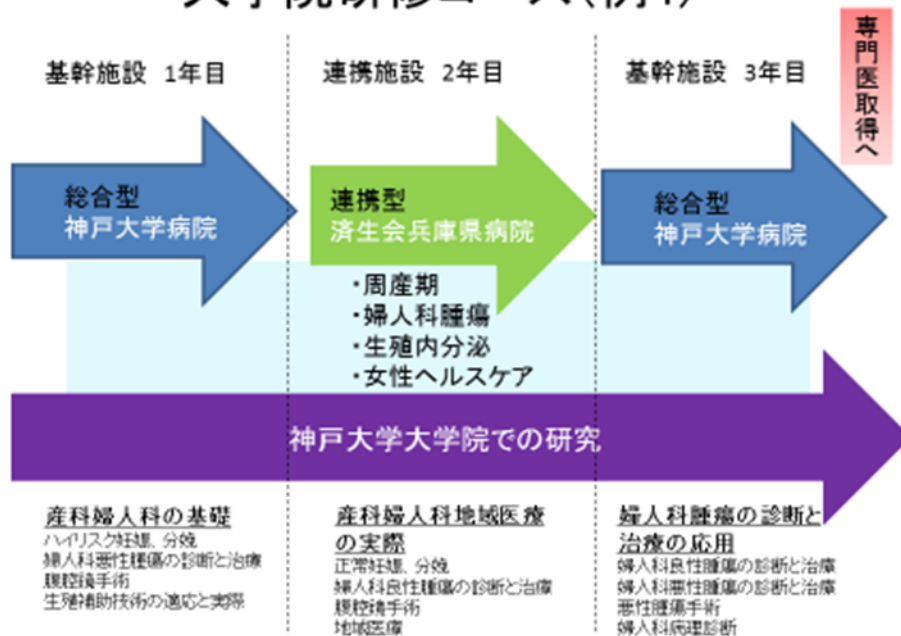


連携施設研修開始コース（例3）
手術、分娩数

		1年目	2年目	3年目	合計
病院		千船病院	神戸大学 医学部附属病院	済生会 兵庫県病院	
手術数	単純子宮全摘術	10	15	20	45
	帝王切開術	40	30	50	120
	子宮内容除去術	20	10	20	50
	腹腔鏡手術	20	10	20	50
分娩数		100	50	200	350

4). 大学院研修コース

大学院研修コース(例4)

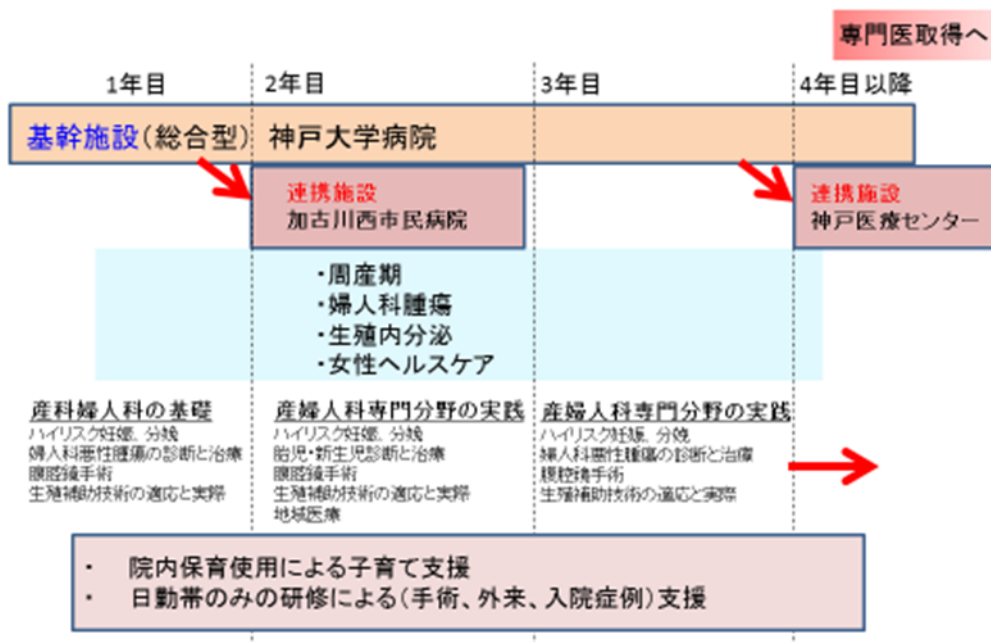


大学院研修コース(例4) 手術、分娩数

		1年目	2年目	3年目	合計
病院		神戸大学 医学部附属病院	済生会 兵庫県病院	神戸大学 医学部附属病院	
手術数	単純子宮全摘術	15	20	25	60
	帝王切開術	30	50	20	100
	子宮内容除去術	10	20	5	35
	腹腔鏡手術	10	20	20	50
分娩数	50	200	50	300	

5). 女性医師支援研修コース

女性医師支援コース(例5)



女性医師支援コース(例5) 手術、分娩数

	1年目	2年目	3年目	4年目以降	合計
病院	神戸大学 医学部附属 病院	加古川 西市民 病院	神戸大学 医学部附属 病院	神戸 医療 センター	
手術数					
単純子宮全摘術	15	15	10	-	40
帝王切開術	20	30	20	-	70
子宮内容除去術	10	20	5	-	35
腹腔鏡手術	10	10	10	-	30
分娩数	50	100	50	-	200

6) 神戸大学産科婦人科初期研修プログラム

1. 初期研修プログラムの概要

- (ア) 卒後5年経過した時点で産婦人科専門医試験が受けられるよう、初期研修の2年目の研修の段階から周産期、婦人科腫瘍、生殖・内分泌および女性のヘルスケアの4分野の疾患の基礎を万遍なく経験できるよう考慮する。
- (イ) 初期研修プログラム（神戸大学）は以下の4コース（一般コース、たすきがけコース、産婦人科医育成コース、小児科医育成コース）を設け、各研修プログラムに特徴を持たせている。
- (ウ) 産婦人科医育成コースでは、1年目に周産期2か月、婦人科腫瘍2か月、さらに2年目に周産期3か月、婦人科腫瘍3か月の研修を行う。産婦人科診療と関連の深い麻酔科、NICU研修もそれぞれ2か月ずつ行う。専門医研修コースに入るまでに、産婦人科医としての幅広い知識と技能を習得することが出来る。
- (エ) 教室の主催する学会、研究会、産婦人科卒後研修セミナー等に参加でき、研修できる。個々の進行状況、参加研修コースに従い、各種学会発表や論文作成などができる。

2. 初期研修プログラム 産婦人科医育成コース 例

より高度な産婦人科専門医を育成するために、周産期・婦人科腫瘍領域での担当医として治療に関わってもらい、さらに興味のある専門分野に対する知識・技能を持ってもらうために、他領域（病理、放射線科）との合同カンファレンスや勉強会に参加してもらい、研修中にはNICUでの新生児管理研修を2ヶ月単位で研修してもらい、それ以外にも、内科、救急部、麻酔科など関連科への研修を組み入れていく。地域連携病院での研修を取り入れ、大学以外での実地医療を経験してもらい、また、専門性を高めるために、地域医療活性化センターでブタを使った内視鏡訓練やALSOなどの産科救急に関する訓練が出来る。他にも、各種研究会への参加も出来る。さらに本コースでは、上級指導医の指導の下で、症例発表以上の学会発表と論文作成を達成目標に入れている。

年 月数	1年目				2年目			
	6ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	2ヶ月	1ヶ月	2ヶ月	6ヶ月	
ローテート 診療科	内科	救急	選択必修 産婦人科 (産科2ヶ月、 婦人科2ヶ月)	NICU 選択必修 麻酔科	地域 医療	選択必修 麻酔科 NICU	選択研修科目 (ローテートは自由に組み合わせが可能) * 基本的には産科婦人科(産科3ヶ月、 婦人科3ヶ月)を履修するものとする。 ただし、研修期間内に達成目標に達しない 可能性がある場合等は他科での研修が可能。	